

大学日誌

1. 大学の人事関係【総務課】

(1)退職者（教員）

令和5年3月31日付

国際商経学部 教授 萩原 弘子

国際商経学部 准教授

ヴィサテップ スクサバン

国際商経学部 准教授 黒川 博文

令和5年9月30日付

国際商経学部 教授 高橋 新吾

国際商経学部 講師 齋藤 翔太郎

社会科学研究所 教授 西井 進剛

社会科学研究所 特命教授 澤田 正

(2)採用・昇任者（教員）

【採用】

令和5年4月1日付

国際商経学部 教授

アディカリ ビシユヌ

国際商経学部 准教授 大野 陽子

令和5年10月1日付

情報科学研究科・社会情報科学部

助教 入江 穂乃香

国際商経学部 講師 金 栄録

社会科学研究所 教授 井出 健二郎

社会科学研究所 教授 齋川 浩司

【昇任】

令和5年4月1日付

国際商経学部 教授 高橋 新吾

国際商経学部 教授 タマシ カルメン

国際商経学部 准教授 龔 園園

情報科学研究科・社会情報科学部

准教授 照山 順一

政策科学研究所 教授 所長 田中 隆

(3)部局長等

令和5年4月1日付

国際商経学部長・経済学部長・経営学部長

友野 哲彦

国際商経学部副学部長

加納 郁也

国際商経学部学生部長

高階 利徳

社会情報科学部長

藤江 哲也

社会情報科学部副学部長

笹嶋 宗彦

社会情報科学部学生部長

西出 哲人

情報科学研究科長

加藤 直樹

社会科学研究所長・経済学研究科長

新澤 秀則

社会科学研究所副研究科長・経営学研究科長

林 昌彦

経営研究科長

秋山 秀一

政策科学研究所長

田中 隆

神戸商科学術情報館長

石黒 靖子

総合教育機構副機構長（東地区担当）

小宮 一高

国際交流機構副機構長

末弘 美樹

学生支援機構副機構長・学生副部長

（東地区担当） 松村 浩貴

2. 表彰・叙勲他【総務課】

兵庫県教育功労者表彰（令和5年12月18日） 加藤 直樹 教授

3. 国際交流状況

(1)各種行事【国際交流推進課】

行事名	期間	参加人数	うち神戸商科 キャンパスから
バンガー大学英国研修	2023. 8. 30～9. 22	10名	2名
エンデラン大学研修	2024. 3. 3～3. 30 (予定)	7名	1名

(2)学生交流【国際交流・学生課】

大学名	派遣学生		受入学生	
	氏名	期間	氏名	期間
エバーグリーン州立大学	山中 風和	2023. 9～2024. 7		
	藤本なつみ	2023. 9～2024. 7		
東亜大学校	中川 琴音	2023. 9～2024. 7	具志彦	2023. 4～2024. 3
	中井 舞乃	2023. 9～2024. 1	盧敬眞	2023.10～2024. 3
天津外国語大学			程 天武	2023. 4～2024. 3
暨南大学	新島玲央菜	2023. 9～2024. 6		
蘇州城市学院	高橋優理子	2023. 9～2024. 1	蒲 従琳	2023. 4～2024. 3
国立嘉義大学	西田 優里	2023. 9～2024. 1		2023. 4～2023. 8
国立台湾大学	水野 僚哉	2023. 9～2024. 6	陳 宥臻	2023.10～2024. 9
ギュスターヴ・エッフェル大学	國吉明香里	2023. 9～2024. 6	洪 璋君	2023.10～2024. 9
	松山 祥子	2023. 9～2024. 6		
ルーマニア・アメリカ大学	埜本 茜音	2023. 9～2024. 7		
	青井ゆりな	2023. 9～2024. 2		

(3)海外研究等帰国者【総務課】

氏名	派遣先	研究テーマ	派遣期間
国際商経学部 教授 川上 昌直	連合王国	ものづくり・もの売りのビジネスモデル改革に関する 日英比較研究	2022. 9. 29～ 2023. 9. 28

(4)教員の交流【総務課】

大学名	受入教員		派遣教員	
	氏名	期間	氏名	期間
エバーグリーン大学	令和4年度は該当者なし		令和4年度は該当者なし	

4. 神戸商科キャンパス学生表彰制度 (旧 学内懸賞論文)【国際交流・学生課】

学生生活委員会にて従来の学内懸賞論文制度の見直しを行い、令和2年度より新たに「神戸商科キャンパス学生表彰制度」を創設した。

対象は以下のとおり。

- ①自主的な研究（卒業論文を除く論文執筆等）を行った団体または個人
- ②スポーツ・文化活動の分野で優れた業績を挙げた団体または個人
- ③地域や自治体への貢献活動を行い、成果等を挙げている団体または個人
- ④その他本学学生として表彰するにふさわしい活動を行った団体または個人

令和5年度の結果は次のとおりであった。

審査結果	対象者 (団体・個人)	代表者	活動人数	分野	業績等
採択	団体	プロジェクトゼミ ナール(和田先生) 地域課題の解決 祭り班	5	地域貢献活動 分野	<活動テーマ> 明舞団地における祭りの復活と県大生による「BON-DANCE」復活
採択	個人	CB21K061 奥 真人	1	その他の分野	公認会計士試験合格
採択	個人	CB21K233 本庄 和貴	1	その他の分野	公認会計士試験合格

5. 関西六公立大学総合競技大会【国際交流・学生課】

令和5年度関西六公立大学総合競技大会は、11月11日に兵庫県立大学姫路工学キャンパスにおいて開会式が行われ、その後、同会場で、男子バレーボール、準硬式野球、合気道、剣道、軟式テニスが、11月12日には男子バスケットボールが行われた。今回は日程・会場が多岐にわたっており、準硬式野球、剣道は、同日、大阪公立大学中百舌鳥キャンパスでも行われたほか、卓球、弓道、アーチェリー、硬式テニス(女子)、バドミントンが、別日程、別会場(姫路総合スポーツ会館、大阪公立大学中百舌鳥キャンパス、京都府立大学など)で、行われた。

兵庫方の戦績は、男子バスケットボール、男子バレーボール、軟式テニス、バドミントンA(女子)、バドミントンB(男子・女子)で1位と善戦したが、惜しくも総合では2位という結果になった。

総合戦績は次表のとおり、大阪方が総合優勝であった。

	優勝(1位)	2位	3位
男子の部	大阪	兵庫	京都
女子の部	大阪	兵庫	京都
総合	大阪	兵庫	京都

6. 学術研究会の活動

学術刊行物の発行

* 商大論集：第75巻第1, 2, 3号(通巻363, 364, 365号) 令和6年3月

* Working Paper No.226

* 研究資料：No.295～297

* Discussion Paper：No.143～

* 研究叢書：98

7. 公開講座(神戸商科キャンパス)【総務課】

講座名	実施学部・ 研究所	実施日時		講師
アルゴリズム理論の基礎	社会情報科学部	令和5年 8月19日(土)	14:00～15:30	教授 宮崎 修一
交通事故と損害保険におけるトラブルに対して	政策科学研究所	令和5年 10月7日(土)	13:00～14:30	教授 田中 隆
中小企業は地域の救世主!? -ソーシャルビジネスから見る中小企業の新しいカタチ-	国際商経学部	令和5年 10月28日(土)	13:00～15:00	准教授 藤川 健
MBAフィールド研究から学ぶ地域振興	社会科学部 研究科	令和6年 2月4日(日)	13:00～16:00	教授 當間 克雄 他

8. 神戸研究学園都市大学連絡交流事業

学園都市単位互換講座(国際商経学部・社会情報科学部の教員による科目)

(1)令和4年度 特別科目時間割およびユニティ高大連携講座

期間	科目名	単位	担当部局	担当教員	曜日・時間
前期	保険論	2	国際商経学部	田中教授	月 16:30～18:00
前期	政府会計論	2	国際商経学部	都築准教授	火 16:30～18:00
後期	リスクマネジメント論	2	国際商経学部	田中教授	月 16:30～18:00
後期	社会調査論	2	社会情報科学部	川向准教授	火 18:20～19:50

(2)令和4年度 学内提供科目

期間	科目名	単位	担当部局	担当教員	曜日・時間
前期	物流産業論	2	国際商経学部	兒山教授	水 13:00～16:10 (隔週)
前期	健康・スポーツマネジメント論Ⅰ	2	国際商経学部	松村教授	金 9:00～10:30
後期	多様な働き方と労働行政	2	国際商経学部	濱田准教授	月 10:40～12:10
後期	租税法各論	2	国際商経学部	濱田准教授	月 14:40～16:10
後期	コンピュータネットワーク	2	社会情報科学部	古隅准教授	火 16:20～17:50

9. 上河賞の授賞式

令和4年度上河賞は、情報科学研究科修士課程の奥田萌莉さんに授与されました。奥田さんは研究論文「形・葉脈の特徴に着目した樹葉画像の深層学習に基づく分類」が『情報処理学会論文誌データベース』に掲載が決まったことにより、この賞を受賞しました。

上河賞授与式は令和5年3月27日(月)正午より、兵庫県立大学神戸商科キャンパス研究棟Ⅰの108会議室で、上河一雄様、上河賞基金管理運用委員会の太田博史委員長、石本真八副委員長、岡本久之委員、車井浩子委員、桑原史郎委員、山口隆英委員、清水隆則委員と、奥田さんの指導教員である大島裕明准教授が列席の下で3年ぶりに対面で行われました。

席上、太田博史委員長が、この賞の設立された経緯と趣旨について、上河泰男先生の人となりや当時在籍されていた他の先生方とのエピソードを混じえて説明され、上河賞を受賞したことを誇りとしてさらに研鑽を積まれることを期待する旨の祝辞を述べられました。授与式後、出席者全員で昼食を取り、受賞者の研究論文に関する話題や掲載に至るまでの苦労話などについての歓談の後、会は滞りなく終了しました。

(文責：上河賞基金管理運用委員会事務局 清水隆則)